

茨城大学工学部「ものづくり体験・理科工作教室」開催報告

茨城大学工学部は、日本機械学会関東支部茨城ブロック共催、日立市教育委員会後援の下に、8月26日（金）に地域連携推進の一環として、「ものづくり体験・理科工作教室」を開催した。毎年開催してきたこの教室は今年で6回目となり、参加者は小学生の高学年生30名と保護者であった。ものづくり体験として、「電子ピアノ」、「ピンホールカメラ」および「ペーパーウェイト」の3テーマを用意した。

開会式で、友田陽工学部長と武田誠総括技術長から、3テーマの製作を通して、ものづくりを楽しく体験してもらうことの趣旨説明があった。

続いて、技術部職員の案内で参加者は、テーマ毎の会場に分かれた。「ピンホールカメラ」教室では、原理の説明を聞いた後、外箱と内箱から製作を始めた。「電子ピアノ」教室では、初めて使うハンダゴテを技術部職員から手助けを受けながら、基盤に素子のハンダ付けを行なった。「ペーパーウェイト」教室では、作り方の説明の後で、普段見たことがない工作機械を技術部職員から手助けを受けながら、機械を操作して部品の加工を熱心に行なった。

参加した小学生は、完成した作品を前に満足そうな笑顔を見せていた。ものづくり体験が出来た有意義な3時間となり、帰り際には「来年も参加したい」という声が聞かれた。



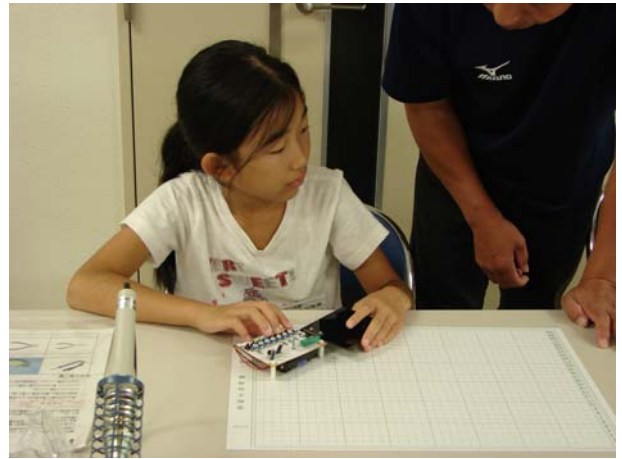
ピンホールカメラ製作の様子。



いよいよ撮影、うまく写るかな！



はんだ付けが難しいかな。



完成した電子ピアノの音階調整。ドレミ??



ダイスを使ってねじをきります。



ぴっかぴかの完成品です。



理科工作教室終了後，全員で記念撮影。